

留学体験レポート

国際学部 2年 佐藤 英泰

1. はじめに

私は、8月から12月の約4か月間、アメリカの University of Central Missouri(UCM) に留学しました。英語を使ったコミュニケーション能力の向上や、TOEICの点数の向上、海外の同年代との会話による異文化理解を目的に、日本を離れて、体験したことのない環境に身を置こうと考え、留学という道を選びました。このレポートでは、私が現地の大学で体験したことや感じたこと、学んだことなどを述べていきます。

2. アメリカでの生活について

私たちは、大学の寮で生活していました。寮は新潟国際情報大学の生徒で2人1部屋です。トイレと浴室はもう1組の人たちと共有なのですが、その組も新潟国際情報大学の生徒でした。大学に到着してすぐであればアメリカ人と同じ部屋にできたりもするらしいので、希望があれば申請すると思います。私たちは人数が男子8人女子8人だったので相部屋も NUIS の生徒で、掃除とかの話し合いも楽にできましたが、もし同室の人が外国人で、日本語が通じない相手でもちゃんとそのような相談はしたほうがいいと思います。食事に関しては、ピザやハンバーガーなどのジャンクの食べ物はおいしいですが、日本人の口に合わないものも多々あります。さらに、食堂で食べられるご飯はバリエーションが少ないので、日本食を持って行ったり、あとからなにか送ってもらったりすると思います。アメリカで買うカップラーメンは基本的においしくないのを買わない方がいいです。

3. 授業について

まず、クラス分けテストを受けて、そののちに自分が受けるクラス(1~9)が決まります。私がいたクラスでは、日本人が私を含めて6人と、エクアドルやメキシコ、パキスタンなどの人たち4人で構成されていました。授業はリーディング、リスニング、コミュニケーションスキル、文法、TOEICなど、総合的に能力をあげてくれるプログラムになっています。個人的には、グループで行うプレゼンテーションで、外国人と英語でコミュニケーションをとって相談しなければいけなかったのが一番大変でした。ですが、序盤は先生や生徒が話すのが早く、会話などを把握するのも苦労したので、留学に行く方は耳を少しでも慣らしておくのほうがいいと思います。

4. 楽しかったこと

日常生活の中では、ジムやビリヤードがとても楽しかったです。大学にかなりしっかりと設備のジムがあり、ジムが休みの日以外はほとんど通って、筋トレをしたり、よく友人たちとバスケットボールやバレーボールをしたりしたのが自分にとって充実していたなと思います。また、私たちが泊まっていた寮の中にビリヤード台があり、洗濯機を回している合間や、寮にいて暇な時間などは、暇つぶしのためによく利用しました。日常生活の中で

留学体験レポート

国際学部2年 佐藤 英泰

もこのように楽しめることはたくさんありましたが、やはり一番の思い出と言えば Thanksgiving Day です。11月の後半に約1週間休みが設けられるのですが、その際に私たちはニューヨークに行って過ごしました。様々な観光名所を回り、ショッピングも楽しめましたし、さまざまなシチュエーションで英語を活用でき、英語の上達も感じられたので、いい体験でした。この体験を就職、ひいては将来の就職先で活かしていきたいと思います。